西東京市市民協働推進センター

令和3年度第5回運営委員会会議録(確定稿)

3 ■開催日時:令和3年12月21日(火)午後7時00分~8時30分

4 ■開催場所:オンライン開催(Zoom)

■出席委員:川村委員、柴委員、永野委員、樋口委員、久松委員、平林委員、馬渕委員、森谷委員、

山本委員<以上9名、五十音順>

■事 務 局:小松センター長、鈴木副センター長、小口地域福祉推進課長、利光地域福祉推進係長、

塚澤主任

9 10

11

12

13

1

2

56

7

8

|.報 告 事 項

1.事業報告について

事務局より、IO-II 月期の主催事業、ホームページアクセス数、新規登録団体、市民活動相談に対する質疑応答とした。特に質疑はなかった。

1415

2. | 2 月以降の事業について

事務局より、12月以降の実施事業について説明があった。特に質疑はなかった。

161718

- 3. 第三者評価について
- 19 事務局より、第三者評価について説明があった。
- 20 委 員:評価結果を今後の運営や組織の在り方等についての反映はどうなっているのか。自分たちが 21 評価したものと評価委員会が評価したものが全く同じなので、来年度に向けてどのような課 22 題が明らかになって、それを今後どのように変えていくのか、今後の予定としてどう考えて いるのか教えて欲しい。
- 24 事務局:Bがついているところの人員配置については市の担当課と交渉していきたい。もう一点はホ 25 ームページのリンク切れに関しては改善を図っていきたい。
- 26 委 員:業務の内容や進め方等については今の状況を継続していくことについて問題はないと解釈し 27 てよいか。
- 28 事務局:特にない。事業については評価してもらっている。これまで通り進めていき、課題が浮き上 29 がってきたものに対しては随時対応していく。
- 事務局:事業についてだが、評価委員からコロナ禍においてある程度事業が進行できていたことについてはとても高い評価をいただいた。オンラインに早くから着手し率先して取り組んできたこと、センターが市民活動団体に対し指導や講座を企画しながら事業を進めていたことや、
- 33 相談業務においてもコロナ禍で動けない期間に活動団体に対して、ゆめこらぼの職員全員が 34 どうしてるかなど問合せをし、相談をこちらから取りに行く姿勢、寄り添った支援ができて 35 いたのではないかなど、令和2年度の事業に関してお褒めの言葉をいただいたことが印象に

36 残っている。

- 37 委員長:コロナ禍という状況の中で、何が出来るか、新しいことを取り入れたことが評価されたこと 38 は嬉しく思う。
- 39 委 員:基本的な事だが、項目一覧の各項目はどこで作っているのか。

- 1 事務局:市との委託契約の仕様書の中の業務の範囲に示されている。
- 委 員:一般的にこのような評価は定性的な評価と定量的な評価がある。目標を作ってどのくらい達成できたかを評価で取り入れられるようになってきている。定量的な評価が出来る部分に関して、数字で評価することがゆめこらぼが当てはまるかわからないが、複数年に渡って最終的な目標があり、今年はこれくらい達成した、次の年はこれくらい目標にしていきましょう

等とやっていくと事業の評価の部分がより鮮明になっていくのではないかと思う。これからの形としてはあっても良いのではないかと思う。

8 事務局:今回の評価表については、昨年度から協働コミュニティ課と協議しなから進めた。このよう

9 な方法は今回が初めてなので、今後の評価の方法はご意見を参考に取り入れられるのか担当 10 課と相談しながら進めたい。

15 事務局: 具体的なイメージはない。センターに 2 名いる事になっているが、なかなか難しいので具体 16 的にどうできるかは、予算規模に合わせた開館時間を行政と交渉していくことを考えてい 17 る。

18 19

2. 審 議 事 項

- 20 1. 前回の会議録について
- 21 委員長:意見がなければ確定稿とする。

22

3. 協 議 事 項

232425

- I.センターの業務執行に関る事項について
- 26 事務局より、令和4年度運営委員(案)について説明があった。
- 27 委 員:産休に入る為、武蔵野大学の教員に引き継ぎさせてもらった。柳先生にお願いする。
- 28 LGBTQ、性的マイノリティを研究している。
- 29 事務局:永野委員は柳先生と交代とし、平林委員が今期で任期が終了となるので、新規選出をしてい 30 きたい。また、今年度4月に配布している設置規則についてだが、現状運営委員の定数を II 31 名以上、I5名以内とするとなっているが、9名以上I5名以内に変更していきたいと検討 32 している。事業規模が減少するので運営委員の数を減らし会議での発言を増やし深堀をして
- 33 いきたいと考えている。
- 34 委員長:運営委員の下限が II 名から 9 名に変更することでよいか。実状に合わせるとか幅を持たせ 35 るという意味合いと受け止めた。
- 36 委 員:9名になって委員の活動領域の割合が崩れることはないのか。現状の活動領域の割合で委員 37 が構成されるということは保たれるのか。
- 38 事務局:活動領域に関しては現在6つの領域となっているで、どこかの領域がかけてしまうことはな 39 いと考えている。
- 40 委員長:下限が9名となっても活動領域に影響はないと受け止めた。

1

2 4. その他

- 3 1. 次回運営委員会日程について
- 4 日時:2月15日(火)19時~20時
- 5 会場:オンライン Zoom